

科目名	キャリアデザインⅠ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	220
授業概要、目的、 授業の進め方	wishの学生として学校生活を送るためのルールを知る インターンシップへの不安を解消し、やる気と自信を生む 仲間づくりを通じて、コミュニケーション力を高めるワークを行う				
学習目標 (到達目標)	学校生活でのルールを知り、社会人となる人材育成を行う。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	その他プリントなど				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～20	オリエンテーション（学校を知る・スケジュールを知る・学校の規律を学ぶ）				
21～30	クラスインフォメーション（学年イベントについて知る・身だしなみ インターンシップ についての説明・実習着の採寸など）				
31～35	パソコンの設定・使い方指導		演習		
36～40	ゴールデンウィークの課題確認・時間割、テキスト説明・クラス交流				
41～50	英語サプラインストール・使用方法、クラスホームルーム				
51～65	クラスインフォメーション、面談				
66～70	1年生交流会				
71～80	クラスインフォメーション				
81～95	夏フェス関連インフォメーション 参加		演習		
96～110	インターンシップレポート、インターン先下調べ、大掃除				
111～120	インターンシップ振り返りレポート作成、後期時間割説明				
121～125	学年決起スポーツ大会の実施				
126～140	クラスインフォメーション、面談				
141～145	避難訓練、業界セミナー説明				
146～150	海外研修旅行説明会				
151～160	海外研修下調べ				
161～170	求職登録面接対策				
171～180	第1回求職登録面接と振り返り				
181～190	クラスインフォメーション、面談				
191～200	アンケート実施、履歴書用写真撮影、クレベリン実施、クラス交流、大掃除				
201～210	第2回求職登録面接と振り返り				
211～216	求職登録面接、就職対策				
217～220	学年交流、修了式、大掃除		演習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出席率 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			学年全体、クラス全体へのインフォメーションの場なので、公平に伝達漏れがないように気を付けて話をする。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

科目名	就職対策				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	70
授業概要、目的、 授業の進め方	就職活動の流れや必要な事柄について理解し、個人で準備ができるように指導する 1. 就職活動の流れ 2. 自己分析 3. 企業研究 4. 書類・面接について				
学習目標 (到達目標)	自分の人生スケジュールを考えながら、就職活動に向かうことができる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	勝つための就職ガイド Success				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	就職活動の心構え		テキスト P.6～		
3 4	就職活動の流れ		テキスト P.14～		
5～8	自己分析 自分自身を知る		テキスト P.18～		
9 10	職業を知る 自己分析		テキスト P.27～		
11 12	論理的文章の書き方・考え方				
13～18	履歴書・エントリーシートの書き方				
19 20	情報収集・企業研究				
21～23	情報収集のポイント		テキスト P.36～		
24～30	面接指導 自己分析 自己PR		テキスト P.52～		
31～35	面接練習 ・ 企業研究 ・ サイトの活用		テキスト P.66～		
36～50	就職研修 履歴書の写真撮影など				
51～55	研修振り返り・企業研究				
55～60	就職研修（1月）・求職登録面接				
61～70	就職研修（2月）・求職登録面接				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		実践行動学Ⅰ				
担当教員		藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択		必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方		1. 意欲的な心構え・自分自身の可能性を導き出す為の為に、体験→気付き→認識→一般化→応用という手法をとりいれ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)		半年毎の目標を設定させ、目標の実現を目指す為の思考力を学ぶ				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	パート1 マジックドア1 夢と目標			個人作業・グループディスカッション		
2	パート1 マジックドア2 間違った思い込みと言いつ			個人作業・グループディスカッション		
3	パート1 マジックドア3 自分への信頼を取り戻すために①			個人作業・グループディスカッション		
4	パート1 マジックドア4 自分への信頼を取り戻すために②			個人作業・グループディスカッション		
5	パート1 マジックドア5 目標を設定しよう			個人作業・グループディスカッション		
6	パート2 マジックドア1 プラス思考が能力・可能性を広げる			個人作業・グループディスカッション		
7	パート2 マジックドア2 考え方を変えれば行動が変わる			個人作業・グループディスカッション		
8	パート2 マジックドア3 あなたの問題はあなたが解決する			個人作業・グループディスカッション		
9	パート2 マジックドア4 コミュニケーションスタイルを見直そう			個人作業・グループディスカッション		
10	パート2 マジックドア5 目標が才能・可能性を開花させる			個人作業・グループディスカッション		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				明確な目標設定を行なわせ、常に向上心を持たせられるよう 留意する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	コミュニケーション				
担当教員	小林 美江	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 社会においてコミュニケーションの大切を知る 2. あらゆる場面でよりスムーズなコミュニケーションをとるための技術を身に付ける				
学習目標 (到達目標)	コミュニケーション初級検定取得を目指す				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ウィネット コミュニケーション技法・コミュニケーション検定 公式ガイドブック				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	コミュニケーション技法 ・行動をチェックする ・効果的な自己紹介の方法		講義 グループディスカッション		
2	コミュニケーション定義				
3	コミュニケーション技法 ・コミュニケーションの基本を身に付けよう		講義 グループディスカッション		
4	公式ガイドブック ・聞く力		講義 チェック問題を解答→解説		
5 6	公式ガイドブック ・話す力		講義 チェック問題を解答→解説		
7 8	公式ガイドブック ・来客対応 ・電話対応 ・アポイントメント 訪問 挨拶		講義 チェック問題を解答→解説		
9 10	公式ガイドブック ・接客営業 ・クレーム対応 会議 取材 ヒアリング ・面接		講義 チェック問題を解答→解説		
11 12	模擬問題練習		チェック問題を解答→解説		
13 14	過去問題 1		問題を解答→解説→苦手箇所の認識→学習		
15 16	過去問題 2		問題を解答→解説→苦手箇所の認識→学習		
17 18	過去問題 3		問題を解答→解説→苦手箇所の認識→学習		
19 20	不得意箇所の克服		過去問 1・2・3 の苦手問題を再トライ		
21 22	過去問題 4		検定を想定して、マークシートにより問題を解く		
23 24	過去問題5		検定を想定して、マークシートにより問題を解く		
25	不得意箇所の克服		過去問4.5の苦手問題を再トライ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
過去問題テスト80%、 授業態度20%			全員の検定合格を目指すため、復習に力を入れること。また、わからない内容は友人同士で共有し、解決できるように図らう。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホスピタリエ				
担当教員	高橋香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ホスピタリエ資格取得をし、ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標 (到達目標)	日常生活の中にホスピタリエの視点を自然にとりいれられるようにする。 社会の課題をホスピタリティの視点で見つめ、自分の考えを持つ思考習慣を身に着ける。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	筆記用具				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～5	ホスピタリエ認定講座		パワーポイント・テキスト		
6	ホスピタリティの2つのステップ		パワーポイント		
7	ホスピタリエに求められる5つの資質		パワーポイント		
8	ホスピタリエのコミュニケーション習慣		パワーポイント		
9	ホスピタリエの共感力を磨こう！		パワーポイント		
10	ホスピタリエが家族に一番近い他人になるために		パワーポイント		
11	ホスピタリエのホスピタリエ紹介		パワーポイント		
12	ホスピタリエの学校生活とファーストステップ①		パワーポイント		
13	ホスピタリエの学校生活とファーストステップ②		パワーポイント		
14	ホスピタリエの共感レポート		パワーポイント		
15	時事問題とホスピタリティ(かもしれないゲーム&あるあるアンサー)		パワーポイント		
16	環境問題とホスピタリティ(かもしれないゲーム&あるあるアンサー)		パワーポイント		
17	高齢化社会とホスピタリティ(かもしれないゲーム&あるあるアンサー)		パワーポイント		
18	ジェンダーとホスピタリティ(かもしれないゲーム&あるあるアンサー)		パワーポイント		
19	国際社会とホスピタリティ(かもしれないゲーム&あるあるアンサー)		パワーポイント		
20	国際社会とホスピタリティ(かもしれないゲーム&あるあるアンサー)		パワーポイント		
21	SNSとホスピタリティ(かもしれないゲーム&あるあるアンサー)		パワーポイント		
22	SNSとホスピタリティ(かもしれないゲーム&あるあるアンサー)		パワーポイント		
23	ホスピタリエが考えるホスピタリティ社会		パワーポイント		
24	ホスピタリエが考えるホスピタリティ社会		パワーポイント		
25	ホスピタリエの共感レポート		パワーポイント		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。		
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅰ				
担当教員	小林 美江	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、 授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要なパソコンスキルを学び、word検定に合格する				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ ワード文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	サーティファイ WORD2019クイックマスター基本編 ワード文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	テキスト～36pまで		実習		
23	文書の編集		実習		
456	文書の印刷 文書の作成		実習		
789	表を使った文書の作成		実習		
101112	図形や画像を使った文書の作成		実習		
1314	検定対策 問題集 練習問題 1・2		実習		
1516	検定対策 問題集 練習問題 3 模擬問題1		実習		
1718	検定対策 問題集 模擬問題 2・3		実習		
1920	検定対策 問題集 模擬問題 4・5		実習		
2122	検定対策 問題集 模擬問題 6・7		実習		
2324	サンプル問題		実習		
25	ワード文書検定3級 受検				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			問題集をクリアすることで、検定合格率がアップすることから、学生のモチベーションをキープさせ、必ず終了するように考慮する。		
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅱ				
担当教員	小林 美江	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要なパソコンスキルを学習する。				
学習目標 (到達目標)	パワーポイントの基本的操作を習得する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	プリント対応				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	パワーポイントの基本操作 プレゼンテーションの作成		実習		
3 4	文字やスライドの編集 オブジェクトの作成		実習		
5～8	表やグラフの作成 表示効果とハイパーリンク		実習		
9 1 0	スライドショーの実行 プレゼンテーションカスタマイズ		実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			任意検定のパワーポイント検定初級を受検が可能である。モチベーションの高い学生とそうでない学生の温度差が出ないように配慮する。		
実務経験教員の経歴					

科目名	オンライン英会話				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	スタディサプリEnglishを利用し、自主学習でついた英語力を全体授業で確認していきます。 お客様とのコミュニケーションに英語は欠かせないため、英語力を強化します。 英語の問題を解くだけでなく、発話する力をつけるため一人ひとりの発話チェックの時間をもうけています。毎回、単語テストを行い習得状況を把握します。				
学習目標 (到達目標)	英語での会話に緊張せず対応できる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	スタディサプリEnglish				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	オリエンテーション Unit1		スタディサプリEnglish・ロールプレイ・単語テスト		
3	Unit1 Lesson 5 トレーニング 4				
4	Unit2 Lesson10 トレーニング 4				
5	Unit3 Lesson15 トレーニング 4				
6	Unit4 Lesson20 トレーニング 4				
7	Unit5 Lesson25 トレーニング 4				
8	Unit6 Lesson30 トレーニング 4				
9	Unit7 Lesson35 トレーニング 4				
10	Unit8 Lesson40 トレーニング 4				
11	テスト練習				
12・13	テスト				
14	振り返り				
15	Unit9 Lesson45 トレーニング 4				
16	Unit10 Lesson50 トレーニング 4				
17	Unit11 Lesson55 トレーニング 4				
18	Unit12 Lesson60 トレーニング 4				
19	Unit13 Lesson65 トレーニング 4				
20	Unit14 Lesson70 トレーニング 4				
21	Unit15 Lesson75 トレーニング 4				
22	テスト練習				
23・24	テスト				
25	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度40% 試験60% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			アプリを中心に学び、単語テストも適宜行う。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	フューネラルビジネス				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔のみ
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、 授業の進め方	1、教養としての葬儀の知識を身につける				
学習目標 (到達目標)	葬祭業界の知識を習得する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	レジュメ作成				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	冠婚葬祭の言葉の意味を知る。クイズを通して葬儀業界を身近に感じてもらう。		パワポで説明。レジュメを配布。		
2	葬祭を取り巻く環境（死亡者数増加～遺族の要望の多様化）を知る		パワポで説明。レジュメを配布。		
3	葬儀の一般的な流れと最近の葬儀スタイルを知る		パワポで説明。レジュメを配布。		
4	ケーススタディからオリジナルの葬儀プランを考える		パワポで説明。レジュメを配布。		
5	遺族の心理（グリーフ）の症状とそのケアを学ぶ		パワポで説明。レジュメを配布。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出欠席100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			葬儀業界を学ぶ機会を通じて、人を支える仕事としての共通点を知ってください。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	センスアップセミナー				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、 授業の進め方	業界に必要なセンスアップを実習をととして習得する				
学習目標 (到達目標)	印象の良いヘアメイクを15分以内に出来るようになる。正しい姿勢で「歩く 立つ 座る」ができる。正しい発声・発音出来る。話し方ができるようになる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ウイネット コミュニケーション技法 プリント対応				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	ヘアメイク:おしゃれと身だしなみの違い ヘアスタイル		ヘアメイク実習		
3 4	ヘア仕上がりチェック フルデモンストレーション 眉のみ練習		ヘアメイク実習		
5 6	メイク練習		ヘアメイク実習		
7 8	ヘアメイクを完璧に仕上げる		ヘアメイク実習		
9 10	歩き方：基本姿勢 表情 お辞儀の仕方		テキスト28・29Pを参考にしながら		
11 12	話し方：発声・活舌トレーニング		テキスト38～42p 50～52p		
13	発声・活舌トレーニング 敬語プリント		テキスト53～66p		
14 15	ビジネス会話 美しい日本語のフレーズ		テキスト67～68p		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			お客様に見られていることを常に意識できるように学習を重ねること。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		イベントプロデュースⅠ				
担当教員		藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択		必修	単位数		時間数	120
授業概要、目的、 授業の進め方		今まで学習した成果の発表をチーム分かれて制作し、保護者に向けて発表する				
学習目標 (到達目標)		進級制作の成功 自分たち自身の成長を実感する 自分たちで立てた目標を達成する				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		なし				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1 2	進級制作発表会の概要と心構え					
3～10	テーマ・タイトル決め					
11～20	役割分担・チームメンバー役割決め、スケジュール作成					
21～60	個々制作					
61～80	チーム制作					
81～90	個人リハーサル①改善					
91～100	チームごとのリハーサル①改善					
101～105	個人リハーサル② 改善					
106～112	チームごとのリハーサル② 改善					
113～115	セッティング 通しリハ					
116～118	全体リハーサル					
119～120	最終リハーサル					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
学習意欲 50% 出欠席 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	パーソナルカラー				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	色を意識したコーディネート方法を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	自分に似合う色わかる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	CUSカラーカード185				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	色と心理				
5～8	パーソナルカラー				
9、10	課題作成				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
検定90%、出欠席10% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			就職活動においてより第一印象アップを目指しましょう		
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ブライダルスタンダード				
担当教員	武田奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	15
授業概要、目的、 授業の進め方	ウエディングの意味や由来を知る。結婚式に出席をする際の基礎知識を身に着ける。 イズ形式でグループディスカッション。				
学習目標 (到達目標)	基本的なウエディング知識の理解。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	自己紹介、教会式について		パワーポイント		
3.4	ウエディングケーキ、サムシングフォー		パワーポイント		
5.6	ブーケ、ブートニア、花にまつわる演出		パワーポイント		
7.8	披露宴演出		パワーポイント		
9.10	手紙や両親プレゼント		パワーポイント		
11.12	招待状の返信について		パワーポイント		
13.14	お祝儀、ドレスコードについて		パワーポイント		
15	授業の振り返り		パワーポイント		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			オンラインであればチャット書き込み、対面であればディスカッションで自分の意見を相手に伝えることも重視している。		
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

科目名	ホテル概論Ⅰ				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	30（前18、後12）
授業概要、目的、 授業の進め方	ホテルや宿泊産業の概要、観光産業の中の位置付けを理解する。ホテルの種類や形態、その組織及び代表的な職種とその業務内容を体系的に学び、業務の基礎知識も身につけて行く。そして、ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、この後に続く就職活動・進路選択に役立てて行く。				
学習目標 （到達目標）	1.ホテル業界の概要、ホテルの種類、及び各部門の代表的な職種・業務内容の把握と基礎知識の習得。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント教材（適宜、レジュメ資料を配布）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ガイダンス / 講師自己紹介（業界経歴） ホテルの概要 / ホテルで働く魅力		レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明		
2	ホテルの成り立ち・歴史		ミニ課題提出		
3	ホテル業界の現況・取り巻く環境 / 観光産業の中の位置付け		ミニ課題提出		
4、5	ホテルの形態 / ホテルの種類・組織・職種		ミニ課題提出		
6、7	代表的なホテル1 事例紹介（国内系ホテル）		ミニ課題提出		
8	代表的なホテル2 事例紹介（新潟のホテル）		ミニ課題提出		
9	代表的なホテル3 事例紹介（外資系ホテル）		ミニ課題提出		
10	ホテルの仕事1 宿泊部門1（組織・職種・業務内容・基礎知識）		ミニ課題提出		
11	ホテルの仕事2 宿泊部門2（組織・職種・業務内容・基礎知識）		ミニ課題提出		
12	ホテルの仕事3 料飲部門（組織・職種・業務内容・基礎知識）		ミニ課題提出		
13	ホテルの仕事4 宴会部門（組織・職種・業務内容・基礎知識）		中間試験（レポート） 作成・提出		
14	インターン後フォローアップ		ミニ課題提出		
15	ホテルの仕事5 セールス&マーケティング部門 （組織・職種・業務内容・基礎知識）		ミニ課題提出		
16	ホテルの仕事6 管理部門1（組織・職種・業務内容・基礎知識）		ミニ課題提出		
17	ホテルの仕事7 管理部門2（組織・職種・業務内容・基礎知識）		期末試験（レポート） 作成・提出		
18	科目まとめ				
19	ガイダンス / 業界の現況		ミニ課題提出		
20	事例紹介1 国内系ホテル・チェーン VS 外資系ホテルチェーン		ミニ課題提出		
21	事例紹介2 国内系ホテル・ホテルチェーン 1		ミニ課題提出		
22	事例紹介3 国内系ホテル・ホテルチェーン 2		ミニ課題提出		
23	事例紹介4 外資系ホテル・ホテルチェーン 1		ミニ課題提出		
24、25	事例紹介5 外資系ホテル・ホテルチェーン 2		中間試験（レポート） 作成・提出		
26	事例紹介6 ホテル最新事例紹介 / 業界現況		ミニ課題提出		
27	ホテルで働く資質・心構え / キャリアプラン 1		ミニ課題提出		
28	ホテルで働く資質・心構え / キャリアプラン 2		ミニ課題提出		
29	就職活動対策 1		期末試験（レポート） 作成・提出		
30	就職活動対策 2 / 科目まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席（ミニ課題含む）40点 授業態度 10点 中間試験 20点，期末試験 30点 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、その後に続くインターンや就職活動・進路選択に役立てていく。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ホテル実務Ⅰ				
担当教員		渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択		選択	単位数		時間数	30（前20、後10）
授業概要、目的、 授業の進め方		前期は、ホテルの基本機能である「宿泊・料飲・宴会」各部門の業務内容を理解した上で、さらにマーケティング部門、会社として必要な、総務・人事・経理など、ホテルを構成する組織の全体像を学ぶ。 後期は、前期に学修したホテル主要部門の特性を踏まえ、部門内及び部門横断的な業務連携の重要性を習得する。 ケーススタディやディスカッションを取り入れ、現実的な理解を多角的に深めるとともに、ホテルを構成する基礎実務の全体像を学ぶ。				
学習目標 （到達目標）		ホテルの管理部門の業務内容の把握と体系的な基礎知識の習得。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		ホテルテキスト 宿泊Ⅰ フロント・オフィス編				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	ガイダンス			テキストを中心に座学で学ぶ		
2	ホテルの仕事（全体像の解説）					
3	宿泊部門1（基礎知識：ドアマン・ベルマン）					
4	宿泊部門2（基礎知識：フロント・客室）					
5	宿泊部門3（基礎知識：コンシェルジュ・安全管理）					
6	料飲部門1（基礎知識：レストラン①）					
7	料飲部門2（基礎知識：レストラン②）					
8	宴会部門1（基礎知識）					
9	セールス＆マーケティング部門（基礎知識）					
10	管理部門（基礎知識：人事・総務・経理）					
11	インターンシップの振り返り					
12～14	ディスカッション 「ホテルの接遇で大切なこと」					
15～17	映像講義 「ホテル接遇現場の実体」①					
18	「マナー・プロトコール」の基本					
19、20	「ホテル実務Ⅰ」の中間総括					
21	宿泊部門内での業務連携					
22	料飲部門内での業務連携					
23	宴会部門内での業務連携					
24	宿泊・料飲・宴会、各部門間での業務連携					
25	セールス＆マーケティングと各現業部門との連携					
26	映像講義 「ホテル接遇現場の実体」②					
27	映像講義 「ホテル接遇現場の実体」③					
28	質疑応答とディスカッション					
29、30	「ホテル実務Ⅰ」の全体総括					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率50％ 授業態度10％ レポート40％				ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、その後にく就職活動・進路選択に役立てていく。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

科目名	宿泊実務Ⅰ				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	50（前30、後20）
授業概要、目的、授業の進め方	1.ホテルのベル業務を中心に荷物預かりや客室案内、EV乗降方法、フロントスタッフの基本的な業務を身に付ける				
学習目標 （到達目標）	1.宿泊関連業務を理解し、実践的な実務を習得する。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	ホテルテキスト 宿泊Ⅱ フロント・サービス編／宿泊接遇の基本				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	宿泊部門の業務		テキストを中心に座学、実技で学ぶ		
3～5	ドアマンの仕事内容				
6～8	ベルマンの仕事内容				
9～11	クロークの仕事内容				
12～14	フロントクラークの仕事内容				
15～18	フロントサービス（エントランス～ロビー～フロントデスク案内まで）		各グループに分かれて実践演習（ロールプレイ）		
19～22	フロントサービス（エントランス～ロビー～フロントデスク案内まで）				
23～26	フロントサービス（フロントデスク～エレベーター～客室まで）				
27、28	イレギュラー対応				
29、30	実技テスト実施／まとめ・振り返り		テスト		
31、32	前期振り返り		テキストを中心に座学、実技で学ぶ		
33～35	リゼーション業務				
36～38	インフォメーション業務				
39～41	コンシェルジュ業務				
42～44	コンシェルジュサービス		各グループに分かれて実践演習（ロールプレイ）		
45～48	コンシェルジュサービス（ケーススタディ）				
49、50	実技テスト実施／まとめ・振り返り		テスト		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率20％ 授業態度10％ 試験50％、レポート20％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			宿泊関連業務の基礎、やりがいを学び、ホテルの仕事に向けての実践的な実務を可能にする。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

科目名	ホテル英語				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1. 英語の習熟度別に分かれ、各自が検定合格や会話の上達を目指し取り組む。 2. 表現に必要な文法をすべて網羅するよりも、重点的に理解が必要な文法や合格に必要なテクニックを集中的に学ぶ。 3. テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。				
学習目標 (到達目標)	検定合格と英会話の向上				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	英検問題集、プリント教材 リスニングCD				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	過去問題を用いて30分程度のレベルチェック（リスニング含む）を再度行い、解答する。		レベルチェックテスト		
3～12	準2級で多く出題される時制文法（未来形・完了形など）について英語表現の違いと意味を言え、書ける。発音できる。過去問題集からリスニングを10分行う。		単語テストあり		
13 14	過去問題からリスニング問題を1回分（30分）実施し、今までの学習内容が耳から理解できるか試す。解答する。		単語テストあり		
15.16	【期末テスト】 今までの学習内容を出题（リスニング含む）し、60%以上の得点がとれる。		期末テスト		
17.18	インターンシップでの接客場面で用いられる英語表現を学び、発音する。ペアワークををし、ロールプレイで発音を確認する。				
19～30	過去問題集を集中して解く リスニングを集中して解く		確認テストあり		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、学習意欲40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英語に対して苦手意識をもっているので、予習時間を十分に 取りアプリを活用した宿題をさせる。高校1年生レベルから教え始めるほうが効果的です。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

科目名	ホテルリサーチ				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	多角的にホテルを分析し、今後の発展にむけての課題や対策を考え、幅広い視野でホテルを見られるようになるための基礎を作る。				
学習目標 (到達目標)	多角的にホテルを見られるようになる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	ホテルをつくるレシピ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	ガイダンス				
3、4	ホテルを知る意味を考える				
5、6	ホテル調査				
7、8	ホテル調査				
9、10	ホテル調査結果共有①				
11、12	ホテル調査				
13、14	ホテル調査				
15、16	ホテル調査結果共有②				
17、18	ホテル調査				
19、20	ホテル調査				
21、22	ホテル調査結果共有③				
23、24	まとめ				
25	後期準備				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率20% 授業態度10% 試験50%、レポート20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全国のホテルを調査し、共有し、様々なホテルを見る視点を身に付け、就職活動に活かしてほしいと考えています。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	料飲サービス（実務）				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	30（前20、後10）
授業概要、目的、 授業の進め方	ホテルの料飲部門に必要な知識を座学形式で身につける。 実際の機材などを確認しながら、目から入る情報も大切にする。				
学習目標 （到達目標）	基本的な料飲部門の知識を身につける（什器、食器、備品類、西洋料理、朝食、日本料理、中国料理の基礎知識、宴会部門の基礎知識）				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	Ⅰ 第1章 料飲部門の概要		ホテルの料飲部門を知る		
2.3	Ⅰ 第1章 料飲部門の概要		ホテルレストランの種類、宴会の種類を知る		
4.5	Ⅰ 第2章 什器・食器・備品類の知識		銀食器の種類を学ぶ		
6.7	Ⅰ 第2章 什器・食器・備品類の知識		銀食器の種類を学ぶ、陶磁器の種類を学ぶ		
8.9	Ⅰ 第2章 什器・食器・備品類の知識		ガラス食器の種類を学ぶ、リネン類、ワゴン類を学ぶ		
10.11	Ⅰ 第4章 西洋料理の基礎知識		フランス料理のフルコースの概要を学ぶ		
12～15	Ⅰ 第4章 西洋料理の基礎知識		1つ1つ細かく説明を入れ、知識を深めていく		
16.17	Ⅰ 第5章 朝食の基礎知識		朝食の料理内容やアメリカンブレイクファーストやコンチネンタルブレイクファースト等を学ぶ		
18	Ⅰ 第6章 日本料理・中国料理の基礎知識		日本料理の種類や作法を学ぶ		
19	Ⅰ 第6章 日本料理・中国料理の基礎知識		中国料理の種類や作法を学ぶ		
20	確認テスト				
21	Ⅲ 第1章 宴会部門概要		宴会の概要を学ぶ		
22.23	Ⅲ 第2章 宴会予約		宴会の予約管理を学ぶ		
24.25	Ⅲ 第3章 宴会サービス		宴会のサービス方法を学ぶ		
26.27	Ⅲ 第4章 婚礼サービスと慶弔の知識		婚礼のサービス方法や慶弔の意味を学ぶ		
28.29	2年次の国家検定取得の意義と動機付け		国家検定について説明し、取得の意義や重要性を伝える		
30	確認テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			基本的な知識を身につけることは大切です。基本的な備品の名前や西洋料理、朝食、日本料理、中国料理を学ぶことで料飲の世界の奥深さや魅力も知ってほしいと考えています。また、知識を身につけることでお客様へのご案内に自信が付き、接客時にお客様へお伝えすることができます。また、自身の2年次のコース選択や国家検定取得に向けた意欲につなげてほしいとも考えています。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

②

国際ホテル・プライダル専門学校 シラバス

科目名	料飲サービスⅠ（演習）				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	55（前30、後25）
授業概要、目的、 授業の進め方	前期は、ホテルでの料飲サービスに必要な基本的知識を実践形式で身につける。 実際に動きながら、自身の体に技術を覚えさせるような意気込みで進めていく。 後期は、前期で学んだ技術が身についているか確認し、成長を実感する。 また、さらに高度な技術を身につけるとともに、2年次のコース選択の考察にも活かす。				
学習目標 （到達目標）	一連のレストランサービスができるようになる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	接客のお辞儀と挨拶、サービスの実践		お辞儀と接客7大用語がきれいにできる。プレート2枚持ちを実践し、お皿の重さを感じてみる。		
3、4	プレートサービスと下げの方法の理解と実践				
5、6	トレイ、グラス、ウオーターピッチャーの扱い方や運び方の理解と実践				
7、8	サーバーの扱い方の理解と実践				
9、10	ワインボトルの扱い方、サービスの実践				
11、12	前回の復習、一連の流れ（パン、プレートサービス、下げ）				
13、14	バンケット研修準備				
15～20	ホテルでのバンケット研修				
21、22	バンケット研修振り返り				
23、24	一連の流れ（お迎え、着席補助、オーダー、離席補助、お見送り）		一連の流れを止めながら、確認していく		
25、26	一連の流れ（お迎え、着席補助、オーダー、離席補助、お見送り）		一連の流れを止めながら、確認していく		
27、28	実技テスト①				
29、30	実技テスト②				
31、32	前期技術の振り返り				
33、34	テーブルサービスの形態を実践で学ぶ		ロシア式、フランス式、イギリス式、アメリカ式		
35、36	スープチュリーンを実践で学ぶ				
37、38	ワイン抜栓を実践で学ぶ				
39、40	テーブルクロスの敷き方、畳み方等実践で学ぶ				
41、42	フルコースのテーブルセッティングを実践で学ぶ		前菜、スープ、魚、肉、水、シャンパン、白ワイン、赤ワイン		
43～48	ホテルでのバンケット研修				
49、50	バンケット研修振り返り				
51、52	日本料理のサービスを実践で学ぶ				
53、54	中国料理のサービスを実践で学ぶ				
55	全体振り返り、2年生への意識づけ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			ホテルでの料飲サービスの基本的技術が身につくように、日々の授業で習う技術を大切にしてください。また、技術を磨くことは自身のためでもあります。いちばんはお客様に楽しいお食事の時間を提供できるためだということを理解しながら、技術を身に付けてください。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

科目名	プロトコール				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	N P O 法人日本マナー・プロトコール協会が実施する日本人として社会人として必須のマナーやプロトコール（国際儀礼）に関わる知識と技能を認定する資格です。国際ビジネス、サービス産業、教育業界をはじめ、就職、ビジネスの第一線で活かすことができます。				
学習目標 （到達目標）	マナー・プロトコール検定3級合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	マナー＆プロトコールの基礎知識				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション、マナーやプロトコールを学ぶ意義		日本、西洋、アジアのマナーの成り立ち		
2	第1章 マナーの歴史と意味		日本、西洋、アジアのマナーの成り立ち		
3	第2章 国際人としてのプロトコール		プロトコールの原則、パーティ、国旗		
4.5	第3章 社会人に必要なマナー		言葉遣い、話し方、服装 贈答（祝儀、不祝儀、袱紗）、手紙のマナー		
6.7	第4章 ビジネスシーンのマナー		会社の仕組み、電話応対 来客応対（茶菓応対）、ビジネス文書、電子メール		
8	第5章 和食のマナー		和室のマナー		
9.1	第6章 西洋料理のマナー		西洋料理とアジアの食事のマナー		
11	第7章 冠のしきたり		主な通過儀礼		
12	第8章 婚のしきたり		婚約、結婚式のマナー		
13	第9章 葬のしきたり		葬儀、法要の日本知識		
14	第10章 祭りのしきたり		年中行事		
15	模擬問題				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、学習意欲（授業態度）20%、検定合格30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			マナーは人と人をつなぐ潤滑油。お付き合いに必須の冠婚葬祭のしきたりや食事の作法、通過儀礼などが確認できます。 社会人として必要なビジネスマナーや異文化交流の基本となるプロトコールは、業種や職種が変わっても必要なものです。生涯にわたって役立つものです。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	業界・顧客研究Ⅰ				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	将来、ホテルで働く者として、ホテル業界について自身で調査をし、理解を深めていく。調査したことを発表し、共有することで興味を広げたり、全体の理解度高めていく。また、顧客としてホテルにいらっしゃるお客様がどのような方々なのかを体験から学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	業界や顧客を理解し、様々なニーズに対応できるようになる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	目的説明、調査テーマ検討				
3、4	調査 ホテル業界・顧客		パソコンで調査		
5、6	体験		体験		
7、8	共有		シートにまとめる		
9、10	まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			自信で興味をもって調査をしましょう。それを体験することで、理解を深め、接客に活かせる経験になるよう努めましょう。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

科目名	Basic English Communication				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 外国人と話すことになれる。英会話の楽しさをしり、表現を多く身につける。自己紹介ができ、各単元の表現ができる。 2. 表現に必要な文法をすべて網羅するよりも、重点的に理解が必要な文法や合格に必要なテクニックを集中的に学ぶ。 3. テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。				
学習目標 (到達目標)	検定合格と英会話の向上				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	Interchange 5th(student book) リスニングCD				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	簡単な自己紹介フレーズを板書し、自分の自己紹介を英作文する。連語の発 音方法や数字、電話やEメールの表現を学び、英作文できる。				
3～6	Unit 1 Where are you from? Introductions and greetings; names, countries, and nationalities の基本文法をピックアップし、一連の流れや表 現方法を理解できる。				
7～10	Unit 2 What do you do? Jobs, workplaces, and school; daily schedules; clock time PROGRESS CHECK PAGES 14-15		単語テストあり		
11 12	【期末テスト】 今までの学習内容を出題（リスニング含む）し、60%以上 の得点がとれる。				
13 14	総復習				
15 16	Unit3 How much are these? Shopping and prices; clothing and personal items; colors and materials				
17 18	Unit4 Do you play the guitar? Music, movies, and TV programs; entertainers; invitations and excuses; dates and times				
19 20	PROGRESS CHECK PAGES 28-29		単語テストあり		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
単語テスト20%、実習課題 60%、学習意欲 20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以 下)とする。			基本英文法は理解している部分も大きいと思うが、それを相手に分 かりやすく教えるための言葉選びや例題準備への姿勢が重要。英語 を理解しながらも、伝える語彙力や教える気配りが、日常生活や社 会人となったときの態度や評価につながり、英語以上に活かせるこ とも伝える。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

科目名	English Communication				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	英語の基礎の確認。 特に単語とボキャブラリーを増やして、多彩な言い回しができるようになる。1つの単語に対して1つの意味だけでなく、複数覚えたり熟語を使った表現を場面に合わせて使えるようにロールプレイしていく。				
学習目標 (到達目標)	インプットしている英語を間違ってもいいからアウトプットしようと努力する。英語で話すって楽しいとわかる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Academic English Vocabulary				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	Unit 1 Getting Know to You				
3 4	Unit 1 Getting Know to You		単語テスト		
5 6	自己紹介の完成 発表		発表		
9 10	Unit 2 Welcome to your New School !				
11・12	Unit 2 Welcome to your New School !		単語テスト		
13・14	学校紹介 発表		発表		
15・16	Unit 3 Setting learning Goals				
17・18	Unit 3 Setting learning Goals		単語テスト		
19・20	将来の目標 発表		発表		
21・22	Unit 4 Academic Success				
23・24	Unit 4 Academic Success		単語テスト		
25・26	目標達成のための行動を考える 発表		発表		
27・28	Unit 5 The Active Learner				
29・30	Unit 5 The Active Learner		単語テスト		
31・32	どんな学びを自分に取り入れると良いか 発表		発表		
33～35	振り返り・テスト		テスト		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
単語テスト20%、実習課題 60%、学習意欲 20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英検準2級レベル。とにかく話をさせるように、身近な話題から取り掛かるように工夫する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	海外語学研修				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔のみ
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	オンライン留学をします。いつも触れ合っている先生ではなく、海外にいる先生とオンラインで授業をうけ、英語だけでなく生活や文化についても教えてもらいます。				
学習目標 (到達目標)	インプットしている英語を間違ってもいいからアウトプットしようと努力する。英語で話すって楽しいとわかる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	留学説明会・レベルチェック				
3 4	オンライン留学				
5 6	オンライン留学				
7 8	オンライン留学				
9 10	オンライン留学 振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
単語テスト20%、実習課題60%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英検準2級レベル。とにかく話をさせるように、身近な話題から取り掛かるように工夫する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	Hotel Business Sense				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	ホテリエとしてのセンスを磨く。特に営業やマーケティング、広報部門の知識を深める。文化教養を身に付けるため、実際に活躍されている現場の方からお話を伺い参考にする。集大成として、自分たちをセルフプロデュースしたプロモーションビデオを作成する。				
学習目標 (到達目標)	職種とプロモーションの重要性の理解				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	ホテルの職種の確認				
3.4	ブランディングとは				
5.6	自分たちのブランディングとは				
7.8	グループワーク				
9.10	ホテルツアーのための事前学習				
11～14	ホテルツアー				
15.16	振り返り				
17.18	プロモーションとは				
19～21	グループワーク				
22.23	チェックと修正				
24.25	ホテルツアーのための事前学習				
26～28	ホテルツアー				
29・30	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題試験80％、学習意欲20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			見学に出向くことが多いので、体調管理をふくめ身だしなみ、挨拶等の自己管理を徹底する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	TOEIC				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	TOEICの基本を知り、500点を目指す。ビジネスシーンで活かせる表現や発音の習得をする。 1、Listeningでは、スピードになれる。リンキングを耳にならす。 2、Readingでは、しっかりとした品詞の違いやPart5の点数アップを目指す				
学習目標 (到達目標)	TOEICの基本を知り、500点を目指す。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	TOEIC L&R TEST対策 500点コース (TAC)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	Part1 写真描写問題 問題形式を把握する		CDを使いながら問題を解き、解説する P45～		
5 6	Part2 WH疑問文について		CDを使いながら問題を解き、解説する P57～		
7～10	Part3 会話問題		CDを使いながら問題を解き、解説する P69～		
11 12	Part4 放送文の冒頭で、トークの種類を聞き取ろう		CDを使いながら問題を解き、解説する P81～		
15～20	Part5 問題形式を把握しよう 名詞 時制 現在分詞など		問題集の問題を中心に解いて、解説する P95～		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
Listening定期試験40%、Reading定期試験40%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			TOEICを解くこと自体はじめての学生が多い。正解率を上げることも大切だが、全体をモーラすることも大切。一つの単元に集中しすぎず、最後まで解き切ることをまずしなければなりません。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

科目名	English Expression				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	雑誌やDVDなどから日常表現を学び、同じスピード、発音をもって話せるようになる。 1、身の回りの表現を英語で話してみる、自分のこと、家族のこと、得意なことなど 2、DVD、洋楽の表現からスピード、発音の練習 3、英語で表現する楽しさを体感する				
学習目標 (到達目標)	日常表現を身につけ、留学時に役に立てる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	イントロダクション 自己紹介		DVDや洋楽を適宜使いながら進める。		
3 4	Family Treeを作る、英語で家族構成を言える、説明できる				
5～10	DVD Friendsから表現を学ぶ 洋楽から表現を学ぶ		DVDや洋楽を適宜使いながら進める。		
11・12	職場体験の経験を英語でまとめる		自分を表現するための英語は各自調べて、質問をする。		
13・14	スライドを作成する		表現はもちろん、表情や間も意識する		
15～20	リハーサル・発表		先生、他学生からの評価を受ける		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験20％、学習意欲80％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			記事について大きく取り上げられている内容だけでなく、その背景やその後の展開を予想しながら主張をくみ取る。社会的背景も学習する必要がある。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

科目名	Dramatic Production（演者・プレゼン表現）				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	スピーチ文や劇を自分たちなりにまねたり演出したりする。英文をただ読むのではなく、場面や状況に応じて読み分ける力をつける。さらにグループワークを通じて、スピーチ文や劇を組み立てることで本質を理解していなければならない構成力や役になりきり表現する力を磨く。 伝わりやすい表現や抑揚、発音を習得し、スティーブジョブズや米国大統領のように表情豊かに表現する。TEDを使い、周りを引きこむ工夫を体感しながら、真似をすることから始める。				
学習目標 （到達目標）	英語プレゼンテーションコンテストの練習や本番で表現力を担当者や審査員から褒められる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	TED、各種ビデオ教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	レベルチェック・チーム分け・introduction		TED		
3.4	TED① 読み取るための英語理解・注意点の共有・練習				
5.6	発音・抑揚チェックを受けながら練習				
7.8	グループ練習・リハーサル				
9.10	発表				
11.12	レベルチェック・チーム分け・introduction				
13.14	TED② 読み取るための英語理解・注意点の共有・練習		TED		
15.16	発音・抑揚チェックを受けながら練習				
17.18	グループ練習・リハーサル				
19.20	発表				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
発表評価80％、学習意欲20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			やりやすい役柄ばかり選ぶのではなく、異性やいつもは選ばない立場の人物を選ぶことで表現の幅が広がる。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		Discussion				
担当教員		藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択		必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方		ひとつの物事をいろいろな側面から見ると力をつける。答えは一つではなく、立場や状況によってことなることを理解し、できないと決めつけるのではなく、できる方法を考え、アドバイスする前向きな思考を身に付ける。				
学習目標 (到達目標)		相手を否定せず、相互理解をする。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		なし				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1.2	お題①自分の思いや意見をブレンストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。					
3.4	聞くこと、受け入れることについて話し合う。					
5.6	お題②自分の思いや意見をブレンストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。					
7.8	お題②自分の思いや意見をブレンストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。					
9.10	お題③自分の思いや意見をブレンストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
学習意欲100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				相手を否定することや常識で判断することは必要ない。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	Gloval Activity				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	世界でどんなことが起こっているのか、SDG sを踏まえて勉強し、自分事として考えられる気持ちを養う。各国の文化を受け入れ、接客に活かせるよう心がける。				
学習目標 (到達目標)	SD G sと異文化の理解				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	SDGsってなんだろう				
3.4	調べ学習				
5.6	調べ学習				
7.8	調べ学習				
9～12	調べたことの発表				
13.14	SDGsについて県内企業のリサーチ				
15.16	SDGsについて県内企業のリサーチ				
17.18	発表				
19～20	SGD s ゲーム				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
発表試験80 %、学習意欲20 % 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			探求型学習になるが、こまめにチェックをし褒めることを忘れない。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	世界遺産検定対策				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	世界各国からお越しになるお客様との会話を広げ、異文化を理解するために世界遺産を中心とした地理を学ぶ。テキストを中心にすすめ、検定合格を目指す。				
学習目標 (到達目標)	世界遺産検定 3級合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	世界遺産検定 公式テキスト ガイドブック				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	世界遺産の基礎知識		世界遺産検定 公式テキスト ガイドブック		
3.4	日本の世界遺産				
5.6	人類の誕生と古代文明				
7.8	アジア世界の形成と文明				
9.10	ヨーロッパ ルネサンス・大航海時代				
11.12	アメリカ・オセアニアの文化				
13.14	近代国家の成立				
15.16	まとめ				
17.18	過去問題		過去問題集		
19.20	過去問題		過去問題集		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価80％、学習意欲20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			暗記中心にならないようにする。写真やYoutube等も活用する。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	中国語会話				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 中国語の発音を理解し、発音できる 2. ホテルやレストランで聞かれる、伝えることを中心に会話ができる 3. 道を聞く、答えられる				
学習目標 (到達目標)	自己紹介、数字の聞き取り、簡単な案内ができるようになる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	中国語 はじめの一步				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	中国語の発音 復習		テキスト・発音の反復と単語テスト		
3・4	自己紹介文・発表				
5・6	人称代名詞;“是”の文				
7・8	人称代名詞;“是”の文				
9・10	指示代名詞;疑問詞疑問文;“的”の用法;				
11・12	指示代名詞;疑問詞疑問文;“的”の用法;				
13・14	副詞				
15・16	副詞				
17・18	動詞の文				
19・20	動詞の文				
21・22	「所有」を表わす“有”〔ほか〕				
23・24	総復習				
25	期末テストと振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験80%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			中国語を学ぶことが初めての学生が多いため、発音や書き方など間違いやすいところを含めて伝え、勘違いが起きない工夫をする。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	キャリアデザインⅡ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	115
授業概要、目的、 授業の進め方	社会人になる前の心と体の準備を行う。自身の将来を考え、企業でどのように活躍していきたいかなど考える。目標を立て、そこに向かって学生時代に行うことができることを精一杯行う。				
学習目標 (到達目標)	最終学年としての自覚を持ち、社会人としての人材育成を行う。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	スタディサプリ、スクールライフアンケート、その他プリントなど				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～6	学校生活のルールを改めて理解する。新しいクラスの友人とコミュニケーションを図る、就職活動		面談、自習		
7～18	就職活動の進捗状況を担任と確認する 内定者は、次の目標について考える		面談、自習		
19～30	自分を理解し、今後のキャリアデザインを考える		面談、自習		
31～40	1年生との交流を図る。		ディスカッション		
41～46	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める				
47～52	様々なイベントをお互いに見学しあい、刺激しあう。 それを自身のイベントに活かす。		レポート		
53～64	卒業制作に向けての準備を行う		ディスカッション		
65～70	前期を振り返る。最後の学生生活であることを意識する。		レポート		
71～74	後期の動機付け、後期目標設定、シート記入		プリント		
75～78	卒業までの残りを実感し、何をすべきか考える		プリント		
79～82	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める		ディスカッション		
83～93	年明けのスケジュール確認、修了式		プリント		
94～105	クラス交流、1．2年生交流会、座談会		ディスカッション		
106～115	学生生活の振り返り、まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、学習意欲（授業態度）50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			社会人になるまであと1年もないということを自覚して、後悔のないように1回1回を大切に考えながら進めること。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅰ				
担当教員	小林 美江	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2、3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1. 社会人・職業人として大切な心構えと習得しておくべき基礎能力を習得する。 2. 過去問題を多用し、試験内容を解く上でのテクニックも学習する。				
学習目標 (到達目標)	ビジネス能力検定 ジョブパス2級 合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ビジネス能力検定ジョブパス2級 テキスト・問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	3級の復習		振り返り		
3 4	検定取得の意義 ビジネス用語の習得		講義 課題		
5 6	2－1 仕事の進め方		講義 確認問題（問題集にて）		
7 8	2－2 ビジネス文書の基本		講義 確認問題（問題集にて）		
9 10	2－3 統計・データのまとめ方		講義 確認問題（問題集にて）		
11 12	2－4 情報収集とメディアの活用		講義 確認問題（問題集にて）		
13 14	2－5 会社数字の読み方		講義 確認問題（問題集にて）		
15 16	2－6 ビジネスと法律・税金知識		講義 確認問題（問題集にて）		
17 18	2－7 産業と経済の基礎知識		講義 確認問題（問題集にて）		
19 20	過去問題 3－1		小テスト		
21 22	過去問題 3－2		小テスト		
23 24	過去問題 3－3		小テスト		
25 26	過去問題 3－4		小テスト		
27 28	過去問題 3－4		小テスト		
29 30	検定				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70％ 学習意欲10％ 検定合格20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			模擬問題を受けた後、出来ていない問題を中心に復習を行うようにすること。		
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ビジネス実務Ⅱ				
担当教員		藤田愛子	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科		全科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択		必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方		1. 実社会での仕事は、自分自身、社会の人、お客様、取引先といった周囲の人と関わりの中で進んでいることを認識する為、ビジネスマナーを習得する。 2. 机上の学習だけでなくロールプレイングを多用し、日常生活でも実践できるよう図る。				
学習目標 (到達目標)		会社組織のしくみと人間関係、来客対応、電話対応、訪問のマナー				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		プリント対応				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	社会人としての心構え 職場での基本的マナー 職場の人間関係			講義 グループワーク		
2	来客対応：接遇の意義と重要性 受付対応の基本用語 刺の受け取り方			講義 ロールプレイング		
3	案内の要領：廊下 エレベーター 応接			講義 ロールプレイング		
4	お茶の出し方 見送り 応接の管理			講義 小テスト		
5	電話対応：注意点 受け方の基本 電話対応基本用語			講義 ロールプレイング		
6	応対電話：伝言メモの作成 電話のかけ方			講義 ロールプレイング		
7	電話対応テスト			ロールプレイング形式		
8	訪問のマナー：訪問の準備 交通手段に関する知識 接室でのマナー			講義 ロールプレイング		
9	自宅への訪問の心構え テスト準備			講義		
10	まとめテスト					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
模擬試験70%、学習意欲30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				各自ロールプレイングを何度も行うことで、体得するよう心掛ける。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		実践行動学Ⅱ				
担当教員		藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		全科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方		1. 実践行動学Ⅰで学習した内容を踏まえ、1年間の振り返りを行う 2. 働くことへの意識を気付き→認識→一般化→応用という手法をとりいれ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)		社会人へでの準備→2年後の目標→ライフプランへと段階を経て、将来の自分を具現化させる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1.2	パート3 マジックドア1 入学から今日までの成長を実感する			個人作業・グループディスカッション		
3.4	パート3 マジックドア2 働く自分をイメージしてみよう			個人作業・グループディスカッション		
5.6	パート3 マジックドア3 自分が最大限に生きる働き方とは			個人作業・グループディスカッション		
7.8	パート3 マジックドア4 将来を描いてみよう			個人作業・グループディスカッション		
9.10	パート3 マジックドア5 夢実現への第一歩を踏み出そう			個人作業・グループディスカッション		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				就職直後、数年後、未来・・・の目標を描かせることで、ポジティブな気持ちを継続させる。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホスピタリエ				
担当教員	高橋香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	1ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標 (到達目標)	ナレッジツリーのしくみを理解し、日常生活の中で知識教養が自然に身についていく生活習慣をつくる ホスピタリティ産業の中で、ホスピタリティがどのように活用され、あるいは活用されていないかを知り、実際のビジネスの現場について学びながら、自然にセカンドステップが発想できるようにトレーニングする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	筆記用具				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ホスピタリティの二つのステップの復習		パワーポイント		
2	ホスピタリティの二つの能力とホスピタリエによるホスピタリエの自己紹介		パワーポイント		
3	共感力コミュニケーションと同感コミュニケーションの比較		パワーポイント		
4	知識を深める生活習慣とナレッジツリー		パワーポイント		
5	ホスピタリエの教養講座①		パワーポイント		
6	ホスピタリエの教養講座②		パワーポイント		
7	ホスピタリエの教養講座③		パワーポイント		
8	ホスピタリエの教養講座④		パワーポイント		
9	ホスピタリエの共感レポート		パワーポイント		
10	料飲ビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
11	ホテルビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
12	ホテルビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
13	ウェディングビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
14	ウェディングビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
15	フューネラルビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
16	医療ビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
17	航空ビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
18	ホスピタリエが考えるホスピタリティ産業		パワーポイント		
19	ホスピタリエが考えるホスピタリティ産業		パワーポイント		
20	ホスピタリエの共感レポート		パワーポイント		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。		
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅲ				
担当教員	小林 美江	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、 授業の進め方	データ入力、表計算、グラフ作成、データベース捜査のスキルを学び、E X C E L 検定初級を受検する。				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ エクセル文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	サーティファイ E X C E L 2 0 1 9 クイックマスター基本編 エクセル文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2 3	エクセルの基本 データの編集 表の編集		実習		
4 5 6	ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理		実習		
7 8 9	関数 データベース機能		実習		
10 11 12	練習問題 1		実習		
13 14 15	練習問題 2 3		実習		
16 17 18	模擬問題 1 2		実習		
19 20 21	模擬問題 3 4		実習		
22 23 24	模擬問題 5 6		実習		
25 26	模擬問題 7 苦手箇所の練習		実習		
27 28	サンプル問題 事前対策		実習		
29 30	エクセル検定3級受検				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20%			復習をメインに模擬問題を確実なものにすることで、検定合格に結びつく為、モチベーションをキープするよう考慮する。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					

科目名	オンライン英会話				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、 授業の進め方	スタディサプリEnglishを利用し、自主学習でついた英語力を全体授業で確認していきます。 お客様とのコミュニケーションに英語は欠かせないため、英語力を強化します。 英語の問題を解くだけでなく、発話する力をつけるため一人ひとりの発話チェックの時間をもうけていま す。毎回、単語テストを行い習得状況を把握します。				
学習目標 (到達目標)	英語での会話に緊張せず対応できる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	スタディサプリEnglish				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	オリエンテーション Unit1		スタディサプリEnglish・ロールプレイ・単語テスト		
3	Unit1 Lesson5 トレーニング4				
4	Unit2 Lesson10 トレーニング4				
5	Unit3 Lesson15 トレーニング4				
6	Unit4 Lesson20 トレーニング4				
7	Unit5 Lesson25 トレーニング4				
8	Unit6 Lesson30 トレーニング4				
9	Unit7 Lesson35 トレーニング4				
10	Unit8 Lesson40 トレーニング4				
11	テスト練習				
12・13	テスト				
14	振り返り				
15	Unit9 Lesson45 トレーニング4				
16	Unit10 Lesson50 トレーニング4				
17	Unit11 Lesson55 トレーニング4				
18	Unit12 Lesson60 トレーニング4				
19	Unit13 Lesson65 トレーニング4				
20	Unit14 Lesson70 トレーニング4				
21	Unit15 Lesson75 トレーニング4				
22	Unit16 Lesson80 トレーニング4				
23	Unit17 Lesson85 トレーニング4				
24	Unit18 Lesson90 トレーニング4				
25	Unit19 Lesson95 トレーニング4				
26	Unit20 Lesson100 トレーニング4				
27	テスト練習				
28・29	テスト				
30	振り返り		↓		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度40％ 試験60％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	レストランサービス技能検定3級対策（学科）					
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科		対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択		単位数		時間数	90
授業概要、目的、 授業の進め方	レストランサービス技能検定3級学科試験合格を目指し、座学を中心にしながらテキストを進めていく （受験資格に受講することが必須）					
学習目標 （到達目標）	レストランサービス技能検定3級学科試験合格					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	西洋料理 料飲接客サービス技法 プリント、確認テスト					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1～3	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第1節 食品					
4、5	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第1節 食品					
6～8	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第2節 西洋料理に使用される主な食材					
9、10	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第2節 西洋料理に使用される主な食材					
11～13	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第3節 一般的な西洋料理調理法、第4節 飲料の種類および特徴					
14、15	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第4節 飲料の種類および特徴、第5節 メニュー					
16～18	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第6節 西洋料理の食器用具・備品					
19、20	確認テスト					
21～23	第2章 接客の基本 第1節～第4節					
24、25	確認テスト					
26～28	第3章 宴会とレストランサービス 第1節 宴会、第2節 レストラン					
29、30	第3章 宴会とレストラン 第3節 客席案内～第8節 メニュー管理					
31～33	第3章 宴会とレストランサービス 第9節 料理、食器等の異常～第12節 食事の国際習慣					
34、35	確認テスト					
36～38	第4章 食文化					
39、40	第5章 施設管理					
41～43	第6章 苦情対応と遺失物の取り扱い					
44、45	確認テスト					
46～48	第7章 食品衛生および公衆衛生 第1節 食品衛生					
49、50	第7章 食品衛生および公衆衛生 第2節 公衆衛生～第3節 食品衛生法					
51～53	確認テスト、第8章 安全衛生 第1節 労働災害					
54、55	第8章 安全衛生 第2節 危険有害性					
56～58	第8章 安全衛生 第3節 労働安全衛生に関する法令					
59、60	全体振り返り解説					
61～63	確認テスト					
64～69	特別講習 問題演習					
70～75	特別講習 問題演習					
76～81	特別講習 問題演習					
82～87	特別講習 問題演習					
88～90	丸付け、振り返り					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
確認テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。				食に関わる知識全般を学びます。わからない、難しい用語などは自身で調べ、頭の中に映像が浮かぶように準備をしてください。そうすることで食に関わる様々な事柄に興味が沸き、検定のためだけでなく自身の仕事に直結した知識を覚えたいと感じるはずです。それが、お客様への食の安全にもつながります。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

科目名	レストランサービス技能検定3級対策（実技）				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	55（前20、後35）
授業概要、目的、 授業の進め方	レストランサービス技能検定3級実技試験合格を目指し、実技を中心にしながら進めていく （受験資格に受講することが必須）				
学習目標 （到達目標）	レストランサービス技能検定3級実技試験合格				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	西洋料理 料飲接客サービス技法 日本ホテル・レストランサービス技能協会からの3級実技課題プリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	動機付け、前年の実技試験課題デモンストレーションと説明				
3、4	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
5、6	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を確認し、通して確認		
7、8	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
9、10	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
11、12	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を確認し、通して確認		
13、14	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
15、16	演習 全体		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
17、18	実技確認テスト①				
19、20	実技確認テスト②				
21、22	実技試験課題デモンストレーションと説明				
23、24	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
25、26	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を確認し、通して確認		
27、28	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
29、30	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
31、32	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を確認し、通して確認		
33、34	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
35、36	演習 全体（みだしなみチェック①）		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
37、38	演習 全体		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
39、40	演習 全体		制限時間に近づけるようタイムも気にする		
41、42	演習 全体（みだしなみチェック②）		制限時間に近づけるようタイムも気にする		
43、44	演習 全体		タイムを縮める		
45、46	演習 全体		タイムを縮める		
47、48	演習 全体（みだしなみチェック③）		タイムを安定させる		
49、50	演習 全体		タイムを安定させる		
51、52	苦手パート克服				
53、54	反復練習				
55	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト30％、出席率40％、学習意欲（授業態度）30％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。 ※F評価者は追試合格後、D評価となる。			実技試験当日に緊張して制限時間をオーバーすることのないように 何度も反復練習を行います。学校内の練習を日々、緊張感を保ち行 うことが重要です。また、試験当日の想像をして、備品の違いや会 場の違いに戸惑わないようにしていきます。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ホテル実務Ⅱ				
担当教員		渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択		選択	単位数		時間数	50（前30、後20）
授業概要、目的、授業の進め方		ホテルの基本機能である「宿泊・料飲・宴会」各部門の業務内容を理解した上で、さらにマーケティング部門、会社として必要な、総務・人事・経理など、ホテルを構成する組織の全体像を学ぶ。				
学習目標 （到達目標）		宿泊関連業務を理解し、実践的な実務を可能にする。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		プリント教材				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1、2	ガイダンス					
3～6	ホテルの仕事（全体像の解説）					
7、8	宿泊部門1（応用知識：ドアマン・ベルマン）					
9、10	宿泊部門2（応用知識：フロント・客室）					
11～14	宿泊部門3（応用知識：コンシェルジュ・安全管理）					
15、16	料飲部門1（応用知識：レストラン①）					
17、18	料飲部門2（応用知識：レストラン②）					
19、20	宴会部門1（応用知識）					
21、22	宴会部門2（応用知識）					
23、24	セールス部門（応用知識）					
25、26	マーケティング部門（応用知識）					
27、28	「企業」としての管理部門の役割（人事・総務・経理）					
29、30	「ホテル実務Ⅱ」の中間総括					
31、32	宿泊部門（事例研究①）					
33、34	宿泊部門（事例研究②）					
35、36	料飲部門（事例研究①）					
37、38	料飲部門（事例研究②）					
39、40	宴会部門（事例研究）					
41、42	セールス部門（事例研究）					
43、44	マーケティング部門（応用知識）					
45、46	映像講義 「ホテル接遇現場の実体」①					
47、48	映像講義 「ホテル接遇現場の実体」②					
49、50	「ホテル実務Ⅱ」の全体総括					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率20％ 授業態度10％ 試験50％、レポート20％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				ホテルの宿泊部門の業務を理解し、求められる資質や心構えも含めて理解し、その後に続く就職活動・進路選択に役立てていく。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

科目名		宿泊実務Ⅱ				
担当教員		渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択		選択	単位数		時間数	40（前30、後10）
授業概要、目的、授業の進め方		ホテルの宿泊部門の様々な業務を実習を通して学ぶ。また、TAPホテルシステムの基本操作ができるようにしていく。				
学習目標 （到達目標）		宿泊関連業務を理解し、実践的な実務を可能にする。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		TAPテキスト				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1、2	宿泊部門内の機能的連携（全体像）					
3～6	映像講義 「宿泊接遇現場の実体」					
7、8	フロント業務の実践①					
9、10	フロント業務の実践②					
11～14	ドアマン・ベルボーイ業務の実践					
15、16	客室清掃業務の実践①					
17、18	客室清掃業務の実践②					
19、20	客室予約業務の実践①					
21、22	客室予約業務の実践②					
23、24	テレフォンオペレーター業務の実践					
25、26	ホテルに於ける宿泊部門の役割①					
27、28	ホテルに於ける宿泊部門の役割②					
29、30	「宿泊実務Ⅱ」の中間総括					
31、32	ガイダンス					
33、34	TAPシステムを使ったフロント業務の実践①					
35、36	TAPシステムを使ったフロント業務の実践②					
37、38	TAPシステムを使ったフロント業務の実践③					
39、40	「宿泊実務Ⅱ」の中間総括					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率20％ 授業態度10％ 試験50％、レポート20％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				ホテルの宿泊部門の業務を理解し、求められる資質や心構えも含めて理解し、その後に続く就職活動・進路選択に役立てていく。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

科目名	ホテル英会話				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	40
授業概要、目的、 授業の進め方	1.外国人と話すことに慣れる。英会話の楽しさを知り、表現を多く身につける。				
学習目標 (到達目標)	1.接客業界への就職が主なので、外国人への接客用語や日常会話が理解できるようになる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	Hotel and Hospitality English				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	ホテル用語の基本単語を学ぶ。		テキストに沿って進める		
3.4	必要な文法・単語・発音を学ぶ。				
5.6	ホテルでの基礎会話や発音の復習				
7.8	連音の発音方法や数字、電話やEメールの表現を学ぶ。				
9.10	宿泊部でのスタッフの業務内容の英単語と発音を学ぶ。				
11.12	ペアワークで発音練習を行う。		テスト実施		
13.14	ペアワークで発音練習を行う。		テスト実施		
15.16	リスニングで聞き取ることができ、書ける。				
17.18	宿泊部での接客表現を学ぶ。				
19・20	ペアワークで発音練習を行う。		テスト実施		
21・22	ペアワークで発音練習を行う。		テスト実施		
23～25	宿泊部でのスタッフ・接客表現の復習。		テキストに沿って進める		
26・27	ロールプレイをしながら定着させる。		テスト実施		
28・29	料飲部での接客表現を学ぶ。		テキストに沿って進める		
30・31	ペアワークで発音練習を行う。		テスト実施		
32・33	料飲部でのスタッフ・接客表現の復習。		テキストに沿って進める		
34・35	ロールプレイをしながら定着させる。				
36～38	期末テスト		テスト実施		
39・40	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度40％ 試験60％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。書く力よりも発話する力を優先する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

科目名	基礎英語				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	1. 各自が検定合格や会話の上達を目指し取り組む。 2. 表現に必要な文法をすべて網羅するよりも、重点的に理解が必要な文法や合格に必要なテクニックを集中的に学ぶ。 3. テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。				
学習目標 (到達目標)	検定合格と英会話の向上				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	英検問題集、プリント教材 リスニングCD・スタディサプリ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	過去問題を用いて30分程度のレベルチェック（リスニング含む）を再度行い、解答する。		レベルチェックテスト		
3～12	準2級で多く出題される時制文法（未来形・完了形など）について英語表現の違いと意味を言え、書ける。発音できる。過去問題集からリスニングを10分行う。		単語テストあり		
13 14	過去問題からリスニング問題を1回分（30分）実施し、今までの学習内容が耳から理解できるか試す。解答する。		単語テストあり		
15・16	過去問題				
17・18	過去問題				
19・20	【期末テスト】 今までの学習内容を出題（リスニング含む）し、60%以上の得点がとれる。		期末テスト		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、学習意欲40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英語に対して苦手意識をもっているので、予習時間を十分に取りアプリを活用した宿題をさせる。高校1年生レベルから教え始めるほうが効果的です。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

科目名	ホテルマネジメント				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	55（前35、後20）
授業概要、目的、 授業の進め方	講義と演習を通して、ホテル業界の現況・時事を把握するとともに、近い将来、マネジメントとしての活躍に必要な、人、もの、カネ、情報といったホテル産業における経営資源の管理手法の基礎を幅広く学ぶ。ビジネスとしてのホテルを理解し、自身のキャリア形成に必要な考える力を身につけていく。				
学習目標 （到達目標）	ホテルのマネジメント業務を理解し、実践的な実務を可能にする。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業ガイダンス / ホテル関連業界動向				
2、3	ホテル産業の特性				
4、5	ホテルマネジメント概論				
6、7	人材マネジメント（人事・労務の基礎知識）				
8、9	ホテルマーケティング（概論・基礎）				
10、11	部門別マネジメント(料飲部門) 1 ＝オペレーション / 予算管理(売上)＝				
12、13	部門別マネジメント(料飲部門) 2 ＝予算管理(原価・F&Bコントロール)＝				
14、15	部門別マネジメント(料飲部門) 3 ＝予算管理(人件費コントロール)＝				
16、17	部門別マネジメント(料飲部門) 4 ＝収支計画 P/Lの理解＝				
18、19	グループワーク（演習: レストラン開業計画) 1 概要・コンセプト				
20、21	グループワーク（演習: レストラン開業計画) 2 収支計画				
22、23	グループワーク（演習: レストラン開業計画) 2 組織・人材				
24、25	グループワーク（演習: レストラン開業計画) 3 プロモーション				
26、27	グループプレゼンテーション				
28、29	業界動向・時事・事例紹介				
30、31	部門別マネジメント(宿泊部門) 1 ＝予算管理(売上)＝				
32、33	部門別マネジメント(宿泊部門) 2 ＝宿泊パッケージ・ブレイクダウンの理解＝				
34、35	部門別マネジメント(宿泊部門) 3 ＝予算管理(原価)＝				
36、37	部門別マネジメント(宿泊部門) 4 ＝人件費コントロール＝				
38、39	部門別マネジメント(宿泊部門) 5 ＝販売促進・SNS・レビューテーション＝				
40、41	グループワーク（演習: ホテル開業計画) 1				
42、43	グループワーク（演習: ホテル開業計画) 2				
44、45	グループワーク（演習: ホテル開業計画) 3				
46、47	グループワーク（演習: ホテル開業計画) 4				
48、49	グループ・プレゼンテーション				
50、51	人材マネジメント（モチベーション・マネジメント）				
52、53	人材マネジメント（キャリア形成）				
54、55	科目まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率20% 授業態度10% 試験50%、レポート20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ホテルのマネジメントの業務を理解し、求められる資質や心構えも含めて理解し、その後に続く就職活動・進路選択に役立てていく。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホテルプランニング				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	55
授業概要、目的、 授業の進め方	現場で働くホテリエ以外のホテル業界に関わる方々から様々なお話をお聞きし、ホテルの未来を考え、新しいホテルの価値を創ることを目指す				
学習目標 (到達目標)	個で戦える力、共感力をビジネスに変える力を身に付ける				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	授業ガイダンス				
3、4	外部講師からの授業ガイダンス				
5、6	ホテル調査				
7、8	ホテル調査				
9、10	ホテル調査				
11、12	質問洗い出し				
13、14	質問精査・決定				
15、16	講演会準備				
17、18	講演会①				
19、20	講演会振り返り				
21、22	ホテル調査				
23、24	ホテル調査				
25、26	質問洗い出し				
27、28	質問精査・決定				
29、30	講演会準備				
31、32	講演会②				
33、34	講演会振り返り				
35、36	ホテル調査				
37、38	ホテル調査				
39、40	質問洗い出し				
41、42	質問精査・決定				
43、44	講演会準備				
45、46	講演会③				
47、48	講演会振り返り				
49、50	講演会①～③の振り返り				
51、52	講演会①～③のまとめ				
53、54	講演会①～③のまとめ				
55	後期準備				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率20% 授業態度10% 試験50%、レポート20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ホテルで仕事をする上で必要な個で戦える力、共感力をビジネスに変える力を身に付ける為に、ホテル業界の方や業界に関わる関係企業の方々からお話を聞き、自身の将来に活かして行ってほしいと考えています。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

科目名	業界・顧客研究				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	35（前20、後15）
授業概要、目的、授業の進め方	将来、ホテルで働く者として、ホテル業界について自身で調査をし、理解を深めていく。調査したことを発表し、共有することで興味を広げたり、全体の理解度高めていく。また、顧客としてホテルにいらっしゃるお客様がどのような方々なのかを体験から学ぶ。				
学習目標 （到達目標）	業界や顧客を理解し、様々なニーズに対応できるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	目的説明、調査テーマ検討				
3、4	調査①-1 ワイナリー見学		パソコンで調査		
5、6	体験①-2		体験		
7、8	共有①-3		シートにまとめる		
9、10	調査②-1 酒蔵見学				
11、12	体験②-2				
13、14	共有②-3				
15、16	調査③-1 和食講座				
17、18	体験③-2				
19、20	共有③-3 → 前期まとめ				
21、22	目的説明、調査テーマ検討				
23、24	調査④-1 ワイン、チーズ講座				
25、26	体験④-2				
27、28	共有④-3				
29、30	調査⑤-1 食材の組みあわせ講座				
31、32	体験⑤-2				
33、34	共有⑤-3				
35	後期まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト30％、出席率40％、学習意欲（授業態度）30％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			自信で興味をもって調査をしましょう。それを体験することで、理解を深め、接客に活かせる経験になるよう努めましょう。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

科目名	酒類知識				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	15
授業概要、目的、 授業の進め方	酒類やカクテルの作成技術を座学、実技を交えながら学んでいく。 また、自身の道具やバーカウンターの整備、整頓方法や経費に関する基本的なビバレッジビジネスについて学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	基本的なお酒の知識や調酒技術の習得。サービスの在り方について考える力を養う。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	動機付け、バーツール配布。備品の紹介				
3、4	酒類概論『お酒とは』 バーツールの扱い方、洗いや、片づけ方				
5、6	ビバレッジビジネスとは 基本動作の練習、バーカウンターの整理・整頓の仕方と重要性				
7,8	カクテル概論『技法、種類』 基本動作の練習				
9,10	醸造酒①『ワイン・ビール・日本酒』 基本動作の練習				
11,12	蒸留酒『スピリッツ』『ウイスキー』 シェイクの練習				
13	混成酒、副材料『リキュール』 シェイクの練習				
14	デコレーションについて シェイクの練習				
15	確認テスト（筆記試験）、サービスについて、まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			シェイクの技術だけでなく、ビバレッジビジネスについてもしっかりと学びましょう。それが、現場に出たときに、すぐに役立つことになるということを理解することが重要です。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	国際文化理解				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	インバウンド対応のの中心の現場で働くホテルスタッフがその政策の成り立ちや各国の行事や国民性、宗教などについて学ぶことは大変重要だと考える。それを座学を中心に学んでいく。				
学習目標 (到達目標)	日本と海外諸国との関係性。日本政府の海外政策などを学ぶ。また、海外の宗教や国民性、行事などの理解を深める。宗教的な食事の禁忌なども学ぶ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	配布資料、PPプレゼン				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	インバウンドの概況について学ぶ				
3、4	日本の政策とこの先の状況、目標について学ぶ				
5、6	各国のデータ、目的の詳細を学ぶ				
7、8	宗教の基本的な知識や禁忌などについて学ぶ				
9、10	インバウンドのホテル受け入れ、海外での働き方について学ぶ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			海外に関して関心を持ち、各国からいらっしゃるお客様のことを理解すること。そして、喜んでいただくためにはどのようなことに注意が必要かを学び、接客に活かしてほしいとかがえています。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		表現技法				
担当教員		渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択		選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方		接客での表現力を正しい日本語を使って身につける				
学習目標 (到達目標)		1つの意味を伝えるのに、様々な表現があることを理解し、使えるようになる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		配布資料				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1、2	発声、滑舌トレーニング 美しく、正しい接客のフレーズ					
3、4	『おいしい』の別表現を学ぶ・考える→共有					
5、6	料理の写真を見て、食べたいと思われるような文章を作成する					
7、8	料理の写真を見て、食べたいと思われるような文章を作成する					
9、10	文章共有→まとめ					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。				接客する際に様々な表現を使って、おいしさを伝えられるように、言葉の引き出しを増やしてほしいと考えています。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

科目名		選択授業				
担当教員		渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択		選択	単位数		時間数	30
授業概要、目的、 授業の進め方		ホテル業界に役立つ知識や技術を選択授業で学ぶ				
学習目標 (到達目標)		ホテル業界に役立つ知識や技術を身に付け、実践的な実務を可能にする。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		プリント教材				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1、2	ガイダンス					
3、4	①旅行地理、レストランマーケティング ②メニュー作成・デザイン			選択授業ごとに分かれて授業を受ける		
5、6	①手話、広報成 ②メニュー作成・デザイン					
7、8	①中国語、レストランマーケティング ②メニュー作成・デザイン					
9、10	①中国語、手話 ②メニュー作成・デザイン					
11、12	①手話、広報 ②着付け					
13、14	①旅行地理、レストランマーケティング ②着付け					
15、16	①中国語、手話 ②着付け					
17、18	①手話、広報 ②着付け					
19、20	①中国語、手話 ②着付け					
21、22	①手話、広報 ②着付け					
23、24	①中国語、旅行地理 ②着付け					
25、26	①広報 ②着付け					
27、28	①中国語、手話 ②着付け					
29、30	①中国語、手話 ②着付け					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率20％ 授業態度10％ 試験50％、レポート20％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				自身の選択する授業でホテル業界に活かせる知識や技術を身に付けます		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

科目名	イベントプロデュースⅡ				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	50
授業概要、目的、 授業の進め方	イベントを通して、観光業界（ホテル、旅館、旅行者等）を取り巻く現状を理解し、そこから魅力を見つけ、高校生に魅力を伝えることができるようなイベントを実施する。プランニング力、プレゼン力、チームワークなど実践を通して身につける。				
学習目標 （到達目標）	ホテル業界の魅力を調査し、発表する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ホテルをつくるレシピ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	説明、イベントをイメージを作る				
3、4	観光業界について調査				
5、6	観光業界について調査				
7、8	共有、イベント案だし				
9、10	伝えたい想い、自分たちの感じたい想いを考え、共有する				
11、12	内容検討、必要担当案だし				
13、14	担当決定				
15、16	テーマ検討、決定				
17、18	イメージカラー、ワード検討				
19、20	内容検討				
21、22	内容決定				
23、24	練習＆試作、作成物試作				
25、26	練習＆試作、作成物試作				
27、28	練習、作成物制作				
29、30	練習、作成物制作				
31、32	作成物完成				
33、34	リハーサル、修正				
35、36	リハーサル、修正				
37、38	リハーサル、修正				
39、40	全体通しリハーサル				
41、42	全体通しリハーサル				
43、44	全体通しリハーサル				
45、46	全体通しリハーサル				
47、48	本番				
49、50	片付け、振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
イベント実施30％、出席率40％、学習意欲（授業態度）30％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。 ※F評価者は追試合格後、D評価となる。			当日来てくれるお客様のことをしっかりと考え、想像し、何を伝えたいのか、どのように感じてほしいのかの意見を出し合い、共有します。自己満足にならずに、ホスピタリティ精神をもって準備に取り組んでください。もちろん、自分たち自身が一生懸命取り組み、楽しみ、達成感を感じ、感動できることが大切です。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

科目名	English Communication				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、 授業の進め方	1. それぞれの前期活動をスライド（3枚程度）と英文でまとめる。 2. 文法・表現方法・伝わりやすさ・発音などの指導。 3. 発表する基本姿勢や英語のフレーズを使いこなせる。				
学習目標 （到達目標）	授業はすべて英語で行われ、自分で作成したスライドをもとに、活動で身につけた文法力、発音を活かし、自分の生活を語ることができる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	スタディサプリEnglish				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	日常会話 自己紹介 他己紹介を英語で行う レベルチェック		PC、各自の個人作業		
2 3	授業や生活をまとめたレポートを参考に英語に直し、写真を付けてスライドを完成させていく。				
4 5	一人ずつチェックを受ける				
6 7	授業や生活をまとめたレポートを参考に英語に直し、写真を付けてスライドを完成させていく。				
8	一人ずつチェックを受ける				
9 10	発表・感想・質問・まとめ			↓	
11～14	スタディサプリEnglish 4技能 ライティングプラス①		アプリから記事を選び、事前に配布し予習する		
15～18	スタディサプリEnglish 4技能 ライティングプラス②				
19～22	スタディサプリEnglish 4技能 ライティングプラス③				
23～26	スタディサプリEnglish 4技能 ライティングプラス④				
27～30	期末テスト・振り返り			↓	
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実習課題60%、学習意欲40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英検準2級レベル。とにかく話をさせるように、身近な話題から取り掛かるように工夫する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	海外語学研修				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔のみ
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	オンライン留学をします。いつも触れ合っている先生ではなく、海外にいる先生とオンラインで授業をうけ、英語だけでなく生活や文化についても教えてもらいます。				
学習目標 (到達目標)	インプットしている英語を間違ってもいいからアウトプットしようと努力する。英語で話すって楽しいとわかる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	留学説明会・レベルチェック				
3 4	オンライン留学				
5 6	オンライン留学				
7 8	オンライン留学				
9 10	オンライン留学 振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
単語テスト20%、実習課題60%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英検準2級レベル。とにかく話をさせるように、身近な話題から取り掛かるように工夫する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	Hotel Business Sense				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	ホテリエとしてのセンスを磨く。特に営業やマーケティング、広報部門の知識を深める。文化教養を身に付けるため、実際に活躍されている現場の方からお話を伺い参考にする。集大成として、自分たちをセルフプロデュースしたプロモーションビデオを作成する。				
学習目標 (到達目標)	職種とプロモーションの重要性の理解				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	ホテルツアーのための事前学習				
3.4	ホテルツアー				
5.6	振り返り				
7.8	プロモーションについて				
9.10	ホテルスタッフとオンライン講義				
11～14	チェックと修正				
15.16	プロモーションについて				
17～19	発表				
20	まとめ・振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題試験80％、学習意欲20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			見学に向くことが多いので、体調管理をふくめ身だしなみ、挨拶等の自己管理を徹底する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	TOEIC				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	TOEICの基本を知り、600点を目指す。ビジネスシーンで活かせる表現や発音の習得をする。 1、Listeningでは、スピードになれる。リンキングを耳にならす。 2、Readingでは、しっかりとした品詞の違いやPart5の点数アップを目指す				
学習目標 (到達目標)	TOEICの基本を知り、600点を目指す。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	TOEIC L&R TEST対策 650点コース (TAC)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	Part1		CDを使いながら問題を解き、解説する／単語テスト		
5 6	Part 2		↓		
7～10	Part 3				
11 12	Part 4				
15～20	Part 5				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
Listening定期試験40%、Reading定期試験40%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			TOEICを解くこと自体はじめての学生が多い。正解率を上げることも大切だが、全体をモーラすることも大切。一つの単元に集中しすぎず、最後まで解き切ることをまずしなければなりません。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

科目名	English Expression				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	雑誌やDVDなどから日常表現を学び、同じスピード、発音をもって話せるようになる。 1、身の回りの表現を英語で話してみる、自分のこと、家族のこと、得意なことなど 2、DVD、洋楽の表現からスピード、発音の練習 3、英語で表現する楽しさを体感する				
学習目標 (到達目標)	日常表現を身につけ、留学時に役に立てる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	イントロダクション 自己紹介		DVDや洋楽を適宜使いながら進める。		
3 4	Family Treeを作る、英語で家族構成を言える、説明できる				
5～10	DVD Friendsから表現を学ぶ 洋楽から表現を学ぶ		DVDや洋楽を適宜使いながら進める。		
11・12	職場体験の経験を英語でまとめる		自分を表現するための英語は各自調べて、質問をする。		
13・14	スライドを作成する		表現はもちろん、表情や間も意識する		
15～20	リハーサル・発表		先生、他学生からの評価を受ける		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験20％、学習意欲80％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			記事について大きく取り上げられている内容だけでなく、その背景やその後の展開を予想しながら主張をくみ取る。社会的背景も学習する必要がある。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	Contemporary English（時事英語）				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	英語の記事を読み、理解をする。その記事の主張に対して、自分の意見を英語で述べる。 事前に新聞記事を配布し、予習をする。 意見を持たないといわれる日本人だが、発言するときの基本英語を身に付け、臆することなく自分の意見を伝えられるようになる。				
学習目標 (到達目標)	英文記事を読み、主張をとらえることができる。主張に対して、自分の意見を言える。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	The Japan Times などの英字新聞				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～2	The Japan Times から選んだ記事に意見を述べる。文法のチェック、発音のチェックも行う。（日本の観光について）		オンライン新聞から記事を選び、事前に配布し予習する		
3～4	The Japan Times から選んだ記事に意見を述べる。文法のチェック、発音のチェックも行う。（日本の文化について）				
5～6	朝日新聞DIGITAL から選んだ記事に意見を述べる。文法のチェック、発音のチェックも行う。（SDG s について）				
7～8	朝日新聞DIGITAL から選んだ記事に意見を述べる。文法のチェック、発音のチェックも行う。（SDG s について）				
9～10	NHK World から選んだ記事に意見を述べる。文法のチェック、発音のチェックも行う。（異文化について）				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験20％、学習意欲80％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			記事について大きく取り上げられている内容だけでなく、その背景やその後の展開を予想しながら主張をくみ取る。社会的背景も学習する必要がある。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

科目名	Dramatic Production（演者・プレゼン表現）				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	スピーチ文や劇を自分たちなりにまねたり演出したりする。英文をただ読むのではなく、場面や状況に応じて読み分ける力をつける。さらにグループワークを通じて、スピーチ文や劇を組み立てることで本質を理解していなければならない構成力や役になりきり表現する力を磨く。 伝わりやすい表現や抑揚、発音を習得し、スティーブジョブズや米国大統領のように表情豊かに表現する。TEDを使い、周りを引きこむ工夫を体感しながら、真似をすることから始める。				
学習目標 （到達目標）	英語プレゼンテーションコンテストの練習や本番で表現力を担当者や審査員から褒められる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	TED、各種ビデオ教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	レベルチェック・チーム分け・introduction		TED		
3.4	TED① 読み取るための英語理解・注意点の共有・練習				
5.6	発音・抑揚チェックを受けながら練習				
7.8	グループ練習・リハーサル				
9.10	発表				
11.12	レベルチェック・チーム分け・introduction				
13.14	TED② 読み取るための英語理解・注意点の共有・練習		TED		
15.16	発音・抑揚チェックを受けながら練習				
17.18	グループ練習・リハーサル				
19.20	発表				
評価方法・成績評価基準					
発表評価80％、学習意欲20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			やりやすい役柄ばかり選ぶのではなく、異性やいつもは選ばない立場の人物を選ぶことで表現の幅が広がる。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	Discussion				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	ひとつの物事をいろいろな側面から見る力をつける。答えは一つではなく、立場や状況によってことなることを理解し、できないと決めつけるのではなく、できる方法を考え、アドバイスする前向きな思考を身に着ける。				
学習目標 (到達目標)	相手を否定せず、相互理解をする。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	お題①自分の思いや意見をブレンストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。				
3.4	聞くこと、受け入れることについて話し合う。				
5.6	お題②自分の思いや意見をブレンストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。				
7.8	お題②自分の思いや意見をブレンストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。				
9.10	お題③自分の思いや意見をブレンストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			相手を否定することや常識で判断することは必要ない。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	Gloval Activity				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	世界でどんなことが起こっているのか、SDG sを踏まえて勉強し、自分事として考えられる気持ちを養う。各国の文化を受け入れ、接客に活かせるよう心がける。				
学習目標 (到達目標)	SDG sと異文化の理解				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	SDGsってなんだろう				
3.4	SDGsについて県内企業のリサーチ				
5.6	SDGsについて県内企業のリサーチ				
7.8	発表				
9.10	SGD s ゲーム				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
発表試験80 %、学習意欲20 % 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			探求型学習になるが、こまめにチェックをし褒めることを忘れない。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	世界遺産検定対策				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	世界各国からお越しになるお客様との会話を広げ、異文化を理解するために世界遺産を中心とした地理を学ぶ。テキストを中心にすすめ、検定合格を目指す。				
学習目標 (到達目標)	世界遺産検定 2級合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	世界遺産検定 公式テキスト ガイドブック				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	世界遺産の基礎知識		世界遺産検定 公式テキスト ガイドブック		
3.4	日本の世界遺産				
5.6	人類の誕生と古代文明				
7.8	アジア世界の形成・文化				
9.10	ヨーロッパ ルネサンス・大航海時代				
11.12	アメリカの文化				
13.14	オセアニアの文化				
15.16	近代国家の成立				
17～20	過去問題		過去問題集		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価80％、学習意欲20％			暗記中心にならないようにする。写真やYoutube等も活用する。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		中国語検定対策				
担当教員		藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		国際ホテル大学併修科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択		必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方		ホテルスタッフとして中国からのお客様にもスムーズに対応できる語学力を付ける。 中国語の基礎会話や読み書きができる。 テキストも用いながら、反復練習を行う。				
学習目標 (到達目標)		中国語検定準4級合格				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		新・ゼロから学ぶ中国語 検定試験合格への道のり 中国語検定試験問題集				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1.2	第1課 人称代名詞・名前の尋ね方と答え方・文末動詞			新・ゼロから学ぶ中国語 検定試験合格への道のり		
3	第2課 判断を表す文、副詞、疑問詞疑問文					
4	第3課 指示代名詞、紛らわしい語の区別、					
5	第4課 動詞・助動詞					
6	第5課 助数詞・家族の呼び方					
7	第6課 形容詞の文 反復疑問文					
8	第7課 時刻表現・前置詞					
9	第8課 曜日の言い方・年齢の尋ね方					
10	第9課 動詞の重ね方 金額の言い方					
11	第10課 存在を表す語・連動文					
12	第11課 助動詞 過去問題					
13	第12課 現在進行形 過去問題			中国語検定対策 過去問題		
14	第13課 前置詞 過去問題					
15	第14課 助動詞 過去問題					
16	第15課 未来形 一問一答 過去問題					
17.18	検定対策 過去問題					
19.20	検定対策 過去問題 期末テスト					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期テスト80%、学習意欲10% 検定結果10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				昨年、中国語の勉強を10時間受講している。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	キャリアデザインⅡ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	110
授業概要、目的、 授業の進め方	①学校生活の情報提供 ②就職活動準備				
学習目標 (到達目標)	スムーズに学校生活が送れるよう情報の理解と整理をする キャリア形成を考えられる時間を持ち、実際にインターンシップをすすめる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～20	前期オリエンテーション				
21～50	就職活動サポート				
51～70	後期オリエンテーション				
71～110	就職活動サポート				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲60% 出席40%			最新の情報を扱うこと。就職応援サイトなどの活用がよい。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	海外語学留学				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	100
授業概要、目的、 授業の進め方	短期留学をし、現地の学校に通う。 現地の生活様式や価値観を体験することで視野を広げる。 語学力の向上にむけ、現地の学校のカリキュラムやスケジュールで活動する。				
学習目標 (到達目標)	海外を自分の目で見ることで視野が広がる、気づきがある。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	現地の学校に従う				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション				
2	クラス分けテスト				
3～100	選択した留学先のカリキュラムに従う				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
留学先の評価基準に従う 100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			海外生活に順応できるか、初期の把握が重要になる		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	大学併修科目				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	590
授業概要、目的、 授業の進め方	自分で選択した科目について学ぶ。 学位の取得。 大学の授業を併修しているため、時間管理を徹底する。				
学習目標 (到達目標)	レポート提出と試験合格。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	選択科目による。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション・テキストの確認				
2	履修の進め方、テストの受け方の確認				
3～590	自分が選択した科目による				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
大学の基準による 100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			テストや提出物のスケジュールの把握が重要。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	キャリアデザインⅡ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	4	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	40
授業概要、目的、 授業の進め方	①学校生活の情報提供 ②就職活動サポート				
学習目標 (到達目標)	スムーズに学校生活が送れるよう情報の理解と整理をする 内定をもらう				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～10	前期オリエンテーション				
11～20	就職活動サポート				
21～30	後期オリエンテーション				
31～40	卒業準備・キャリアデザイン				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲60% 出席40%			最終学年のため、目標達成ができるように声をかける。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	大学併修科目				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	4	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	760
授業概要、目的、 授業の進め方	自分で選択した科目について学ぶ。 学位の取得。 大学の授業を併修しているため、時間管理を徹底する。				
学習目標 (到達目標)	レポート提出と試験合格。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	選択科目による。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション・テキストの確認				
2	履修の進め方、テストの受け方の確認				
3～760	自分が選択した科目による				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
大学の基準による 100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			テストや提出物のスケジュールの把握が重要。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				